



2024年2月1日

各位

上場会社名 BIPROGY 株式会社
代表者名 代表取締役社長 平岡 昭良
(コード番号 8056 東証プライム)
問合せ先 広報部長 滝澤 素子
(TEL 03-5546-4111)

BIPROGY グループ機構改革・役員人事 (社長交代および代表取締役の異動を含む)

BIPROGY 株式会社 (本社：東京都江東区、社長：平岡 昭良) は、以下のとおり機構改革と役員人事を行います。

1. 機構改革 (2024年4月1日付)

2. 役員人事

- ◆社長交代および代表取締役人事 (2024年4月1日付)
- ◆取締役人事 (本年6月開催予定の株主総会で承認、正式決定予定)
- ◆執行役員人事 (2024年4月1日付)

BIPROGY グループは、「Purpose」および「Vision2030」をもとに、経営方針 (2021-2023) に基づく取り組みをグループ全体で推進し、お客様やパートナーと共にデジタル技術を活用し、社会課題に取り組むことで、売上拡大や組織の風土改革を実現してきました。

その一方で、市場環境や顧客のニーズは絶えず変化しており、既存のSI事業に取り組みながらも、将来を見据えた次なる収益基盤を確立し、企業価値を持続的に高めていかなければなりません。

BIPROGY グループは、現在策定中の新経営方針の中で、経営資源を戦略的に配置・配分して、事業ポートフォリオを転換していくことに加え、グループ経営基盤を強化していくことを検討しています。

これら施策を確実に実行していくため、2024年度の組織編制を行います。組織編制のポイントおよび変更点は以下の通りです。

1. 機構改革 【変更日 2024年4月1日】

■持続的成長を実現させるための事業ポートフォリオ転換

国内 DX ビジネスを中心とする「コア事業」と、新たな市場・事業開発を担う「成長事業」を定義し、それぞれに適した事業運営により中長期視点での企業価値向上を目指す。

マネージドサービスセンターは、ユニアデックス株式会社に機能を集約し、BIPROGY グループの事業の柱の一つとして成長を目指す。

【コア事業】

- ・ ビジネスイノベーション部門とビジネスサービス部門の各部門配下の一段組織名称を統一し、注力領域の集中と選択による顧客への提供価値を向上することで、企業価値増大に繋げる。
- ・ BizDevOps 部門は、テクノロジーの持つ可能性を引き出し、サービスビジネスやアウトソーシングビジネスの拡大に寄与するサービス化機能を強化し、「テクノロジーサービス部門」に改称する。

<ビジネスイノベーション部門>

- ・ コア事業と成長事業のビジネス再編を踏まえ、製造分野のビジネス連携を強化するため、インダストリーサービス第四事業部を「インダストリーサービス第三事業部」に統合する。

<ビジネスサービス部門>

- ・ 次期コアバンク構想の実現を加速するため、プロジェクト型組織として、金融ソリューション本部を「次期コアバンク開発プロジェクト」に改称・再編する。
- ・ コア事業における開発プロセス変革と開発人財の育成・獲得を推進し、開發生産性をより向上・拡大するため、プロダクトサービス第一本部を強化し「開発推進本部」に改称する。これにともない、プロダクトサービス第二本部を「プロダクトサービス本部」に改称する。

<テクノロジーサービス部門>

- ・ 次世代技術の発掘・獲得から、注力技術の選定・強化およびサービス化に繋げるため、独立組織としていた総合技術研究所をテクノロジーサービス部門に配置し、技術戦略と事業戦略の連携をより強化する。
- ・ デジタルテクノロジーを活用したデザイン力や適用力を強化するため、プラットフォームサービス本部を「デジタルエンジニアリング本部」に改称・再編する。
- ・ これまで蓄積してきた技術力を継承し更にモダナイズを推進するため、プロセスアウトソーシング本部を「サービスプラットフォーム本部」に改称・再編する。
- ・ グループ一体となりマネージドサービス事業を強化するため、サポートサービス本部をユニアデックス株式会社へ統合する。

【成長事業】

- ・ 新たなサービス領域の獲得と成長市場への深耕、社会 DX 事業の開発・共創・拡大を推進し、新たな事業ポートフォリオを確立するため、インキュベーション部門を「ビジネスクリエーション部門」に改称・再編するとともに、「グローバル部門」を新設する。

<ビジネスクリエーション部門>

- ・ グループ全体のマーケティング機能に加え、新たな事業機会の探索や、事業戦略との連動を強化するため、グループマーケティング部をグループデザイン第三部門からビジネスクリエーション部門に配置する。
- ・ AI/データビジネス等の企画・販売を推進するため、BizDevOps 部門および Tech マーケ&デザイン企画部の一部機能を再編し「市場開発本部」を新設する。
- ・ インキュベーション部門を中心に取り組んできた新規事業に関して集中と選択を行い、注力領域の新規事業開発・拡大に注力するため、「事業開発本部」を新設する。
- ・ ビジネスクリエーション部門における事業ポートフォリオの転換・連携を推進する機能、および新たな市場開発、事業開発を推進する仕組みを構築する機能として、「戦略企画部」を新設する。

<グローバル部門>

- ・ BIPROGY グループ全体で海外事業を加速するため、ビジネスイノベーション部門から「グローバルビジネス部」を独立させ、強化を図る。

■グループ経営基盤の強化

グループデザイン部門は、戦略策定・推進機能をより強化するため4つのユニットに再編し、「コーポレート部門」に改称する。

<コーポレート部門>

- ・ 「Vision2030」の実現に向けて当社グループのサステナビリティへの取り組みを経営に統合していくため、「サステナビリティ推進部」を新設する。
- ・ 事業戦略と人財戦略の連携をより強化するため、人的資本マネジメント部はグループデザイン第一ユニットに配置する。
- ・ グループ全体における製品・サービスの商品化プロセスのガバナンスを強化するため、Tech マーケ&デザイン企画部の一部機能を「プロダクトマネジメント部」として再編する。

2. 役員人事

◆社長交代および代表取締役人事（2024年4月1日付）

本日開催の取締役会において、下記のとおり社長交代および代表取締役人事を決定しました。

- (1) 異動の理由 2024年度から始まる新経営方針の確実な実行に向けた経営体制に移行すべきタイミングと考えるため。

(2) 異動の内容

【新任】

▽齊藤 昇（サイトウ ノボル） （現：代表取締役専務執行役員）

新職：代表取締役社長

▽葛谷 幸司（カツヤ コウジ） （現：取締役専務執行役員）

新職：代表取締役専務執行役員

【退任】

▽平岡 昭良（ヒラオカ アキヨシ）

旧職：代表取締役社長

※なお、平岡 昭良は本年3月末日をもって、代表取締役社長を辞任し取締役になるとともに、本年6月開催予定株主総会終了後に顧問に就任予定。

(3) 新任代表取締役の略歴

▽代表取締役社長	齊藤 昇 (サイトウ ノボル)
生年月日	1961年8月8日生
経歴	1986年4月 当社入社 2004年4月 当社産業流通第二事業部長 2009年4月 当社流通事業部長 2010年4月 当社流通第二事業部長 2012年4月 当社ビジネスサービス事業部長 2013年4月 当社執行役員 2016年4月 当社常務執行役員 2016年6月 当社取締役常務執行役員 2020年4月 当社代表取締役専務執行役員 (現在)
所有株式数	24,700株

※なお、齊藤 昇の写真は下記 URL を参照願います。

<http://www.biprogy.com/press/president>

▽代表取締役専務執行役員	葛谷 幸司 (カツヤ コウジ)
生年月日	1963年10月24日生
経歴	1985年1月 当社入社 2007年7月 当社 SW&サービス本部 S-BITS 適用統括 PM 2011年4月 当社金融第三事業部長 2012年4月 当社金融事業部門副部門長 2014年4月 当社執行役員兼経営企画部長 2016年4月 当社常務執行役員 2016年6月 当社取締役常務執行役員 2021年4月 当社取締役専務執行役員 (現在)
所有株式数	14,500株

◆取締役人事 (本年6月開催予定の株主総会で承認、正式決定予定)

本日開催の取締役会において、下記のとおり役員人事を内定しました。なお、本人事は、本年6月開催予定の第80回定時株主総会で承認され、正式決定される予定です。

【新任】

▽取締役 澤上 多恵子 (サワカミ タエコ) (現:業務執行役員)
なお、澤上 多恵子は本年4月1日をもって、執行役員に就任予定。

◆執行役員人事（2024年4月1日付）

新 職	旧 職	継続職	氏 名
執行役員	業務執行役員		宮下 尚
執行役員	業務執行役員		澤上 多恵子

以上